

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和 6年 7 月10日(水)～7月11日(木)		
開催時間	7月10日(水) 13:00～17:30		
開催場所	早稲田大学 国際会議場 井澤大記念ホール		
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟		
研修会等の名称	全国地方議会サミット2024 非常事態への備え これからの議会		
内容・結果等	<p>◎「生活を支える強い地域を議会がつくる」 早稲田大学名誉教授 北川 正恭氏 2000年に地方分権推進一括法が制定され、大きくは国と地方の関係が「対等・協力」に変わった。「議会として災害時にどう対応するか?」「地方で起きたことは地方で!」専決処分を回避するには? オンラインなど。「善政競争」に取り組む。</p> <p>◎「能登半島地震被災地の議会からの報告」 輪島市議会元議長: 椿原正洋氏、珠洲市議会議長:、番匠雅典氏、 能登町議会議長: 金七祐太郎氏 発災時議会への情報が中々こない、情報共有ができなかった。(議会BCPの必要性を感じた) 国の支援の継続や国民の末永い支援を望まれていた。</p> <p>◎「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」 熊本市長 大西一史氏</p> <p>◎「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」珠洲市長: 泉谷満寿裕氏 (対談: 熊本市長×珠洲市長) (災害時には)排せつは深刻であり、トイレカー、応援職員のためのキャンピングカーは必要。 (困っていること)解体など専門業者が少ないが、早くしないと住民が離れていく(2年以内)</p> <p>【感想】 今回の研修に総勢22人(大学教授、市長、議長、防災に関する幅広い分野)の登壇者を迎え、参加者450人(+オンライン参加者200人)の参加に関心の高さが伺えた。 「いつ来るかわからない 災害」に災害を経験された両市長の対談を聴き、色々な想定をしての備えが必要と感じた。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	研修費		11,220
	旅費	航空券パック(祐徳旅行株式会社)	56,700
	旅費	電車、バス	4,720
	宿泊費		
	振込手数料		
	合 計		72,640

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和 6年 7 月10日(水)～7月11日(木)		
開催時間	7月10日(水) 13:00～17:30		
開催場所	早稲田大学 国際会議場 井澤大記念ホール		
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟		
研修会等の名称	全国地方議会サミット2024 非常事態への備え これからの議会		
内容・結果等	<p>◎「防災DXの最前線と今後の展開」 国立研究開発法人防災科学研究所 総合防災情報センター長 防災DX官民共創協議会 理事長 臼田 裕一郎氏 防災DXに関しては、災害対応の現場において極限状態の中で様々な状況を迅速に把握し、的確に意思決定・行動することが求められ、そのためには「情報」が不可欠であった。防災DXについてもこれから研修を受けたいと強く思った。</p> <p>◎「災害時におけるドローン:人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性」 佐賀県庁:JAXA・総務省地域情報化アドバイザー 宇宙公務員 円城寺 雄介氏 JAXAでは『宇宙×地域創生』の視点で「月への道をつくる仕事」をされており、総務省地域情報化アドバイザーとして全国の自治体へデジタル化推進を支援。 「平時にやっていないことは、災害時にはできない」「生活に寄り添う」の言葉に共感した。</p> <p>◎「東日本大震災の経験から」 元総務大臣 片山 善博氏 ○リーダーシップと専門的知見…専門知識を持った人、片腕が幹部組織にいるか ○平素の準備(防災訓練など)…平素の準備、訓練が大事 ○行政機関の縦割りと住民の視点…縦割りの狭間がある ○検証と教訓…県がしっかりとする。自分の言葉で語る。</p> <p>【感想】リーダーとしてちゃんとしているか。東日本大震災時には、専門家がいなかった。いざという時にどのように対応するかがリーダーに問われる。職員に気持ちよく働いてもらうための環境整備も大事と語られる片山氏の首長を経験された方の言葉が心に響いた。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	研修費		様式3-1に同じ
	旅費		
	宿泊費		
	合 計		

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和 6年 7 月10日(水)~7月11日(木)				
開催時間	7月11日(木) 10:00~16:00				
開催場所	早稲田大学 国際会議場 井澤大記念ホール				
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟				
研修会等の名称	全国地方議会サミット2024 非常事態への備え これからの議会				
内容・結果等	<p>◎「非常事態への備えと議会の対応・役割」 法政大学 総長 廣瀬 克哉氏 非常事態のフェーズ(段階)…発災期(3日程度)情報収集機能、応急期(4日~1週間) 課題整理機能、復旧期(1週間目から数カ月+α)議論の場としての機能 (注意点)・各自議会が果たすべき役割を考慮しておく・共有しておくための計画の策定 ・住民と共有しておく</p> <p>◎パネルディスカッション 「東日本大震災の経験をふまえた災害対応」 久慈市議会 議長 濱欠 明宏氏 「大規模復興と議会のあり方」 陸前高田市議会・元議長 福田 利喜氏 「住民避難・離散と自治体・議会の活動」 双葉町長 伊澤 史朗氏 災害時対応マニュアルが必要→議会BCPへ(久慈市議会) これからに向けては ・災害発生を想定した訓練の実施 ・ICTの活用 ・PDCAサイクルの 実践(陸前高田市議会) 全国に分散して暮らしている住民が一日も早く地域に戻れる ように説明と優先順位をつけていく(双葉町長)</p> <p>◎「デジタル・生成AIを活かす」 デジタルハリウッド大学 橋本 大也氏 ・事務的な仕事…会議の要約、繰り返し、ひな形複製 (議事録要約、議員ロボ、議員の政策を比較する、議員ファイル分析) ・分析的な仕事…超エクセル、グラフ作成、説明の執筆 ・創造的な仕事…発想壁打ち、画像の生成</p> <p>【感想】生成AIの内容は、これまでも何度か講義を受けてきたが、今回は、ある自治体の 市長の発言や議員の一般質問を例にわりやすく話され、その内容はとても興味深かった。</p>				
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先	金 額 (円)
	会費				様式3-1に同じ
	旅費				
	宿泊費				
	合 計				

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和 6年 7 月10日(水)～7月11日(木)		
開催時間	7月11日(木) 10:00～16:00		
開催場所	早稲田大学 国際会議場 井澤大記念ホール		
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟		
研修会等の名称	全国地方議会サミット2024 非常事態への備え これからの議会		
	<p>◎「議会改革の最新トレンドとトピックス」</p> <p>「議会改革の軌跡と展望—マニフェスト選挙から20年、その先に！—」</p> <p>大正大学 教授 江藤俊昭氏</p> <p>◎パネルディスカッション 「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」</p> <p>可児市監査委員事務局長 平田 祐二氏、</p> <p>あきる野市議会議員・議選監査委員:元議長 子籠 敏人氏、コメンテーター:江藤俊昭氏</p> <p>コーディネーター:可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上文浩氏</p> <p>◎「委員会代表質問を活かす」法政大学 教授 土山 希美枝氏</p> <p>甲賀市議会 副議長 田中將之氏 別海町議会 議長 西原浩氏</p> <p>委員会の所管事項で十分に調査・議論し、委員会代表者が議場で質問する。(30分)□</p> <p>委員会の総意と□て政策提案を行うことで、提案の実効性と議論の連続性が期待できる</p> <p>→委員会の総意としての質問であるため、一般質問より重みがあり具体的に丁寧な対応をされている。</p> <p>◎「早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査から」</p> <p>早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏</p> <p>議会活動は内部改革から地域貢献へ…『真の住民参画』のための『議会情報の共有』</p> <p>【感想】今回のサミットは、盛りだくさんで一つ一つをゆっくり時間をかけて受講したい内容だったが、これだけの登壇者の話を聴けることも大変貴重な体験だった。</p> <p>非常事態への備えとして、やはり平時からの備えが大事であり、円城寺氏の「平時にやっていないことは、災害時にはできない」が一番心に残った。防災の研修を受けるたびに発言しているが、これからも平時の備えの重要性を提案していきたい。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	研修費		様式3-1に同じ
	旅費		
	宿泊費		
	合 計		